

中央区立郷土天文館 第18回特別展
区制施行70周年記念 中央区のあゆみ―戦後の発展とまちの変化―

【特別展の概要】

中央区は昭和22年（1947）に誕生して今年で70年になります。その間に経済・交通の発達、都市計画などにより、まちの景観・インフラなどは大きく変化しました。

今回の展示では、写真資料などから70年間のまちの発展と変化の様子をたどります。まちの大きな変化の要因となった出来事、背景を探り、中央区のあゆみを振り返ります。

【期間等のご案内】

◎期 間 平成29年10月21日（土）～12月10日（日）

◎時 間 ・火～金曜日 午前10時～午後7時
・土、日曜日 午後10時～午後5時

※最終入場は閉館の30分前

◎会 場 中央区立郷土天文館（タイムドーム明石）特別展示室

◎入場料 無料

◎休館日 毎週月曜日

【主な展示物】

銀座復興絵巻・区内各所写真・都市計画図・三十間堀埋め立て図面・銀座地籍図台帳・水上生活者関係資料・地下鉄路線図・メトロ関係資料（記念切符等）・橋梁関係部品・佃島渡船関係部品など

【構成】

1 戦後の復興

- ・終戦直後のまち：進駐軍の接収・露店
 - ・中央区誕生：人口・住民
 - ・復興計画：土地区画整理・河川埋め立て・高速道路ビル・交通の変化
- トピック：区名・町名

2 東京オリンピックと高度経済成長

- ・東京オリンピックによる整備：河川埋め立て・高速道路
- ・人口増加と交通網の変化：水路の店舗化・はしけの衰退と水上生活者・水上バス・都電廃止・佃大橋の開通と渡船廃止・地下鉄
- ・晴海地域の発展：晴海埠頭完成・公団住宅・国際見本市・南極観測船・防潮堤

- ・月島の性格変化：工業地域から住宅商業地域へ（IHI の移転）
 - ・佃の漁業衰退と豊海町誕生
 - ・日本橋の発展：金融街としての成長：東証の変遷・老舗とデパートのまち
- トピック：開発と埋蔵文化財

3 バブル前後

- ・観光地として
- ・再開発・超高層ビル：リバーシティ 21・晴海トリトン・コレド・銀座
- ・人形町寄席末広の消滅
- ・東京湾大華火祭

トピック：思い出の建物：日本橋・日本橋帝国製麻ビル・和光・プランタン銀座・晴海見本市・公団住宅等

●年表

●人口推移表

●地名対照表

【交通機関等】

◎最寄り駅

東京メトロ日比谷線 築地駅（3番・4番出口）徒歩7分

東京メトロ有楽町線 新富町駅（4番・6番出口）徒歩10分

【問い合わせ先】

中央区立郷土天文館「タイムドーム明石」

中央区明石町12-1 中央区保健所等複合施設6階

電話：03-3546-5537